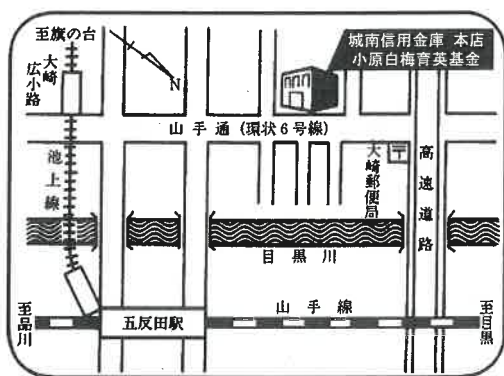


育英基金のごあんない

公益財団法人小原白梅育英基金

〒141-8710 東京都品川区西五反田7丁目2番3号
城南信用金庫内
TEL 03(3493)8111 (代表)



公益財団法人小原白梅育英基金

公益財団法人小原白梅育英基金の概要

<設立の趣旨・沿革>

公益財団法人小原白梅育英基金は、城南信用金庫の創立 40 周年記念事業の一環として、向学心に燃える学生の方々に奨学金を援助し、「世の為、人の為」に役立つという高い志を持った人材を育成することを目的として、昭和 61 年 2 月に創立されました。

以来、基本財産の拡充ならびに育英奨学事業の充実、発展に全力で取り組んで参りました結果、今や基本財産は 70 億円に達し、奨学生につきましても、令和 2 年 7 月 1 日現在で 120 名、既に社会の第一線で活躍している卒業生を含めた奨学生数も 1,700 名を超える等、名実ともに我が国有数の育英奨学基金として、着実に発展を遂げております。

<育英基金の概要>

- ◆ **名 称**
公益財団法人小原白梅育英基金
〒141-8710
東京都品川区西五反田 7 丁目 2 番 3 号
城南信用金庫内
TEL 03 (3493) 8111 (代表) 直通 03 (3493) 8135
- ◆ **基本財産**
70 億円
- ◆ **目 的**
当育英基金は、向学心にあふれ、品行方正、学術優秀でありながら、経済的理由により修学が困難な学生に対して奨学金を援助し、社会に役立つ人材を育成することを目的とします。
- ◆ **事 業**
 - ① 奨学金の給付
 - ② 奨学生の指導
 - ③ その他、設立の目的を達成するために必要な事業
- ◆ **奨学金の給付期間**
卒業までの最短修業年限とします。
- ◆ **奨学金の給付額**
月額 50,000 円 (返済の義務はありません)
- ◆ **奨学生の資格**
 - ① 大学生
 - ② 学術優秀、品行方正であること。
 - ③ 経済的理由により修学が困難であること。
 - ④ 大学の推薦があること。
- ◆ **募 集 人 員**
30 名程度
- ◆ **応 募 手 続**
大学を通じて、当育英基金所定の書類を提出していただきます。
- ◆ **奨学生の決定**
当育英基金の手続きを経て決定し、結果については大学ならびに本人に通知します。
- ◆ **採 用 大 学** (令和 3 年度採用大学)

東京大学	慶應義塾大学	法政大学
一橋大学	早稲田大学	明治学院大学
東京工業大学	立正大学	昭和女子大学
横浜国立大学	神奈川大学	専修大学
横浜市立大学	明治大学	千葉商科大学

● 役 員

- | | | |
|------|--------|---------------------------|
| 理事長 | 吉原 毅 | 城南信用金庫名誉顧問 |
| 常務理事 | 小泉 博美 | ㈱城南情報サービス顧問 |
| 理事 | 木村 孟 | 大学評価・学位授与機構顧問
元東京工業大学長 |
| | 相磯 秀夫 | 慶應義塾大学名誉教授
元東京工科大学学長 |
| | 坂詰 秀一 | 立正大学名誉教授
元立正大学長 |
| | 坂東 真理子 | 昭和女子大学理事長 |
| | 河原 清彦 | 不動産管理業 |
| | 三谷 昌宏 | みなみ商事(株)顧問 |
| 監 事 | 木村 正彦 | 公認会計士 |
| | 横田由紀彦 | ㈱城南不動産サービス顧問 |

● 評 議 員

- | | |
|--------|--------------|
| 安藤 正道 | 佛母山摩耶寺住職 |
| 原田 博夫 | 専修大学名誉教授 |
| 浅井 通泰 | 弁護士 |
| 安藤 清志 | 東洋大学教授 |
| 粕谷 克己 | 不動産管理業 |
| 波田野 正和 | 不動産管理業 |
| 須藤 英章 | 弁護士 |
| 森田 正隆 | 明治学院大学経済学部教授 |
| 大塚 健一 | ㈱城南情報サービス顧問 |
| 守田 正夫 | 城南信用金庫常勤監事 |
| 渡辺 泰志 | 城南信用金庫相談役 |

● 選考委員

- | | |
|-------|----------------|
| 眞野 芳樹 | 早稲田大学大学院教授 |
| 貫洞 玲子 | 横浜商科大学事務総長 |
| 原田 博夫 | 専修大学名誉教授 |
| 森田 正隆 | 明治学院大学経済学部教授 |
| 山藤 公一 | しんきん成年後見サポート顧問 |

令和 3 年 3 月 5 日現在